答申骨子案(震災前の時点における到達点)【

※本案は確定版ではありません。

平成23年8月9日東京都観光事業審議会

資料2

など

など

I 東京の観光振興の意義

1 背景

- ○「観光」を通じてもたらされるもの
 - ①消費、投資による地域経済の活性化
 - ②地域住民の地元への愛着や誇り
 - ③自主的な取組による地域の活力向上
 - ④地域、国際間の交流の活発化による 相互理解の促進
- ⇒成長の柱として「観光」の役割は重要。

2 東京の特性

- ○伝統と最先端の文明との共存・融合
- ○食やアニメなどの多彩な文化の存在
- ○多様な魅力が溢れる世界有数の都市
- ⇒日本のリーダーとしてその機能と魅力 を更に高めていくことが必要。

3 東京における観光振興の必要性

- ○確実に増加する外国人旅行者の誘致・ 獲得
- ○新たな雇用機会や需要の創出・拡大
- ⇒東京は日本全体の観光振興の牽引役。 東京は今後も持続的に成長。

Ⅱ 近年の観光を取り巻く社会情勢変化

○国を挙げた観光立国の体制強化

- ・観光立国推進基本法の施行(19年1月)
- ・観光庁の発足(20年10月)

〇メディアの多様化

- 情報の多様化(動画・口コミサイト、 ツイッター、フェイスブックなど)
- 〇旅行者誘致における都市間競争の激化
 - ・アジアなど海外主要都市の台頭

〇旅行者ニーズの多様化

・個人旅行の増、ネットでの直接予約等

○観光まちづくりの概念の普及

・観光=地域活性化の手法との認識へ

〇航空状況の変化

・空港容量の拡大、LCCの参入など

○新規有望市場の台頭

- ・ビザ発給要件緩和による中国人旅行者 の増加、東南・南アジア市場への注目
- ○為替レートの変動
 - ・この数年における円高の進展

Ⅲ 観光施策推進における現状と課題

1 多様化する旅行者ニーズに対応した 資源開発

- ○テーマ性に沿った観光資源の不足
- ○多様化するニーズへの対応が不十分
- ○様々な資源を繋ぐ機能が弱い

2 旅行者が快適に旅行できるための 環境整備

- ○快適さを感じられる受入体制の不足
- ○外国人の不安要素の一つが言語
- ○観光都市としての意識が希薄

3 旅行者のニーズや新たな行動特性を 踏まえたアプローチ

- ○詳細な市場調査やニーズ把握が必要
- ○旅行目的地としてのイメージとPR が不十分
- ○多様化するメディアの活用が不十分

4 MICEによる東京のプレゼンスの 向上

○支援策・体制・施設等が不十分

5 観光人材の育成

- ○東京の観光を担う人材の不足
- 6 東京の観光振興を進める実施体制
 - ○各主体の連携による相乗効果が必要

7 指標の設定及び観光統計の整備

○客観的な情報や効果把握手法が未確立

IV 観光の視点による東京の将来像

- 1 旅行した経験をより多くの人と共有し たくなる都市
- 2 外国人旅行者も自国にいるのと同じように快適に過ごせる都市
- 3 旅行目的地として行きたいと思わせる 都市
- 4 観光を支える人材力に溢れる都市
- 5 民間・都民・行政が総力を結集して観 光振興に取り組む都市

V 施策提言(案)

戦略1 何度訪れても楽しめる、新たな魅力の創出

- ○東京の顔となるイメージ、象徴するイメージの明確化
- ○新たな付加価値、多摩・島しょを含めた独自の資源等による誘客
- ○点在する資源を繋ぐことによる広域的な地域浮揚

戦略2 旅行者目線に立った受入環境の充実

- ○街なかで様々な情報を簡単に手に入れることのできる環境整備
- ○旅行者の誰もが障壁を感じない、快適で安心な環境づくり
- ○旅行者に優しいホスピタリティ溢れる対応

戦略3 旅行目的地としての東京のイメージの確立と効果的な情報発信

- ○有望な市場への効果的なアプローチに資する調査・分析
- ○対象市場における統一イメージによる継続的なPRキャンペーン
- ○最新のICTによる観光情報の発信、海外メディアの活用 など

戦略 4 外国人旅行者に着実に到達し、東京訪問の流れをつくる プロモーション

- ○旅行者の行動特性等を踏まえた効果的・継続的なプロモーション
- ○現地の動向、海外都市の誘致策も勘案した積極的な施策展開など

戦略5 海外主要都市に負けないMICE都市・東京プログラムの推進

- ○プロモーション展開、伝統・文化等による支援メニューの創出
- ○誘致・開催を支える体制・施設の充実、整備等の検討・実施など

※MICE(マイス): Meeting(企業会議)、Incentive(企業の報奨旅行)、Convention(学協会系会議)、 Exhibition(イベントや展示会)の総称。

戦略6 東京の観光を牽引する人材力の確保

- ○東京の観光・観光産業、まちづくりを担う人材の育成と活用
- ○グローバル化に対応した、国際的な人材を幅広く育成

<施策を推進するために必要な事項>

★ 国・民間をはじめとした各主体との一体的取組

○国・自治体・民間・都民等の総力を結集した協働

など

★ 観光の実態を捕捉するツールや体制の整備

- ○量的側面に加え、質的側面による成果指標の設定
- ○ニーズ・動向を把握・分析し、具体的施策に反映

など

★ 財源の確保

○宿泊税は観光振興に活用しつつ、使途を含めたあり方を検討